

パラグアイ海外邦人安全対策情報

(令和4年10月～12月)

1 安全に関する情報

(1) 外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご留意ください。

● コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、
コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県
プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2: 不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

● アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、
カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタブア県エン
カルナシオン市

:「レベル1: 十分注意してください。」(継続)

(2) 地域ごとの特に注意すべき点

ア. アスンシオン、シウダ・デル・エステ、エンカルナシオンなどの都市部を中心に、路上強盗被害が多発しており、多額の現金を所持している者を狙った犯行が多くみられます。特に、車での信号待ちの最中に強盗被害に遭う場合や徒歩での移動中の被害が多く発生しています。

イ. パラグアイ北部(アマンバイ県、コンセプション県、サン・ペドロ県)では、反政府武装組織「パラグアイ人民軍(EPP)」の活動が確認されています。同組織は、過去に警察官、軍人、地元住民など数十件に及ぶ殺人事件に関与しており、2009年には上院議員、2020年には元副大統領など多数の誘拐事件を主導したと言われています。2022年10月に行われた警察の捜査により、EPP 幹部が射殺されたことを受けて、翌11月 EPP によるものと思われる警察検問所への襲撃事件が発生しました。

ウ. また、北部のパラグアイ・ブラジル国境付近の地域では、ブラジルの麻薬密売組織「Primer Comando de la Capital(PCC)」が敵対する「Comando Vermelho」との間で抗争を続けており、度々銃撃戦に発展するなど地域の治安を脅かしています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 全般

パラグアイ国内では、市街地でのオートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、ひったくり、置き引き、車上ねらい等が発生しています。携帯電話、スマートウォッチ、貴金属等の露出には十分に注意し、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外では携帯電話の使用は極力控える、カバンは

身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないよう基本的な防犯対策の徹底に心掛けてください。徒歩による移動は、犯罪被害に巻き込まれるリスクが高く、日中でも人通りが少ない道路や夜間は特に注意が必要です。

路線バスでは、乗客の手荷物を狙った強盗やスリが多く発生しています。タクシーや配車サービスなどを含む車での移動時においては、信号待ちの際に開いていた車の窓から所持品を盗まれる被害が多発しています。

また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗事件も多く発生しています。金融機関をご利用の際は、日時や場所を変え常に周囲の状況を確認するようにしてください。

万が一強盗被害に遭った場合は、犯人の要求に従い絶対に抵抗しないでください。

(2) 主な事件概要(当地報道)

- ・10月8日(土)、セントラル県カラペグア市内で女性が車上ねらい被害にあい、デビットカードを盗まれた。被害者は銀行でデビットカードの停止手続きを行ったが、カードは使用され、現金(約4,100米ドル相当)が引き出される被害が発生した。
- ・10月11日(火)午前8時頃、アスンシオン市セントロ地区の路上にて、女性2名が徒歩で移動中に、凶器を持った男に襲われ所持品を強奪された。
- ・10月19日(水)深夜、アルト・パラナ県ミンガ・グアス市の住宅に、覆面姿の男約15名が侵入し、一家全員をロープで縛り、車、宝石類、携帯電話、タブレット、テレビなどの電化製品などを強奪された。
- ・10月21日(金)午前9時30分頃、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市内にて、女性が子供を乗せて車で移動中していたところ、武装した3人組の男が無理矢理車に乗り込み、女性と子供を人質にとり被害者宅に押し入った。その後、帰宅した被害者の夫も同じくロープで縛り人質としたが、現場付近にいた建設作業員が被害者の声を聞き警察官に通報し、強盗犯3名は駆けつけた警察官によって逮捕された。
- ・10月23日(日)正午、アマンバイ県内で行われた合同捜査部隊FTCによる捜査により、反政府武装組織「パラグアイ人民軍(EPP)」の主犯格とされるオスバルド・ダニエル・ビジャルバ・アジャラ及び農民武装グループの先住民2名が射殺された。
- ・11月21日(月)、アマンバイ県セロ・グアス地域に所在する警察の検問所が、パラグアイ人民軍(EPP)とみられる武装犯に襲撃され、現場にいた警察官4名が銃弾を被弾し負傷した。

・11月24日(木)午後2時50分頃、セントラル県ルケ市内の路上で、女性2名が銀行で小切手を換金し車で移動していたところ、車で接近してきた覆面姿の武装犯3名に現金(19,000米ドル相当)を強奪された。

・11月25日(金)午前5時40分頃、アスンシオン市サンタ・テレサ通りに面する高層マンション付近にて、ブラジル国籍の男性2名と空港の職員1名が、警察官を装った武装犯6人に現金50万米ドルを強奪された。

・12月3日(土)深夜、セントラル県ルケ市に所在するコンビニ店に、オートバイで接近してきた2人組の武装犯が店員を拳銃で脅迫し、売上金を強奪した。

・12月9日(金)午前1時頃、イタプア県コロニア・クレスブルゴ市内にある銀行の支店にて、爆発物を使った襲撃事件が発生した。武装犯が警察署前で警察官が出動出来ないよう妨害をした上で、別の武装犯が爆発物を使って銀行を襲撃したが、警察の発表によれば現金は盗まれなかった。

・12月14日(水)午後、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市内の路上で、配達員の男性が、別のオートバイに乗った武装犯2名に襲撃され、携帯電話を盗まれた。被害者は武装犯から発砲を受け重傷を負い病院に運ばれたが翌日死亡した。

・12月22日(木)午後、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市に所在する両替店に、8人組の武装犯が押し入って経営者を人質に取った。その後、武装犯らは経営者の自宅に向かい、被害者宅の警備員の男性も人質にとり、自宅に保管してあった現金を奪い逃走しようとしたところ、現場にかけつけた警察官2名との間で激しい銃撃戦となった。この銃撃戦で警察官1名が射殺され、もう1名が負傷した。強盗犯らは一般車両とパトカーを使って現場から逃走した。

・12月28日(水)深夜、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市内の路上にて、20代の男性3名がオートバイを押して歩いていたところ、3、4人の男に拳銃で脅され、オートバイと所持品を強奪された。被害者のうち1人は強盗犯に抵抗したため、足に銃弾を受け負傷した。

3 誘拐・脅迫事件発生状況(当地報道)

・12月1日アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市内にて、農場経営者の男性とその息子が車で移動中に3、4名の武装犯に連れ去られ、身代金として10万米ドルを要求される事件が発生した。